

囲碁ボール

◆用具

囲碁ボールマット、ボール、スティック

◆貸出数

囲碁ボールマット5枚、
ボール(白10個・黒10個)5セット、スティック10本

◆人数

1vs1、2vs2、3vs3、その他変則的な人数も可

◆会場・コート

屋内・屋外(地面が平面なところ)
コートは自動車1台分のスペース



◆競技

(1)競技の進め方

- ①選手は試合開始の前にヒットラインに集合し、トスで先攻を決めます
- ②ゲームは全5局で争われ、トスで勝ったチームが1局目の先攻で、黒ボールを使用します。
負けたチームは後攻で白ボールです。以後同じ色のボールを使用します。
- ③ヒット(スティックでボールを打つこと)順は、黒チームと白チームが交互に打ちます。
- ④両チームがすべてのボール(黒・白各10個)を打ち終わることを「1局」といい、
1局が終わればアウトボールを取り除き、セーフボールの得点を記録します。

(2)ルール

ボールをヒットできる位置はヒットラインの後方でラインの幅の範囲内です。
ボールはスティックで打ちますが、その回数は1回限りです。
打ったボールが、すでに停止しているボールに触れても反則となりません。逆に、後から打つボールをいかして、相手チームを不利にしたり、自分のチームを有利にすることができます。
打ったボールがマットの手前のほうに停止しても、その局が終わりまではボールはその位置のまま競技を続けます。

対戦方法	一人が打つボール数
1 vs 1	10個
2 vs 2	5個
3 vs 3	2人が3個、1人が4個

○1局の終了とその判定

【1局の終了】

両チームがすべてのボール(黒・白各10個)を打ち終わると1局の終了となります。終了を確認したら、相互審判でアウトボールを除き、判定に入ります。

【得点】

得点には「ライン得点」と「ポイント得点」があります。

【ライン得点】

自分のチームのボールが縦・横・斜めのいずれかの穴に3つ以上並ぶ。
並んだ数を「目」といい、できた組数を「連」といいます。
例えば、3つ並んだのが2組あれば、「3目2連」といいます。
ただし、6目以上は無効でライン得点になりません。

【ポイント得点】

セーフボールとして入っているボールの数がポイント得点となります。

10個のボール全部がセーフで、ポイント得点「10」の場合はポイント得点のほか、特別にライン得点「5連1目」が与えられます。

【1局の判定】

①はじめにライン得点を見ます。

5目、4目、3目の順に、多い「目」において「連」がいくつあるかを比べます。

数の多い「目」があるチームが勝ちです。

「目」が同じ場合は「連」の多いチームが勝ちです。

②次にポイント得点を見ます。

ライン得点がすべて同じ場合のみ、ポイント得点の勝負となります。

当然、ポイント得点の多い方が勝ちです。

ライン得点が優先するため、いくらポイント得点が多くても勝ちにならない場合があります。

【次の局】

1局が終了すれば、得点を計算し次の局に入ります。

次の局は、前の局の得点のいいチームが先攻となります。

終了した局が同点の場合は、前の局の先攻チームが引き続き先攻となります。

○1試合の終了とその判定

【1試合の終了】

1試合の時間は30分です。時間内に5局を争います。

試合途中で30分がすぎた場合は、その局は続けますが次の新しい局には入りません。

ただし、故意にプレーを遅らせ、自分のチームに有利にすることはできません。

【1試合の勝敗判定】

①はじめにライン得点を見ます

②次にポイント得点を見ます

③ライン得点でもポイント得点でも同じ場合は、いずれかの局で高いポイント得点のあるチームが勝ちとなります。

④さらに同じ場合は、トスで決めます。